

日本のロックは何を伝えてきたか？

開催日時

2017年**12月16日**(土) 15:00~17:30

会場

法政大学 ボアソナードタワー26階 会議室A

定員

50名

参加費

無料

概要

「ロックと政治」の問題が改めて取りざたされる昨今、果たして日本のロックに携わってきた人々は、ロックを通じて何を伝えてきたのだろうか。産業化の中でのロックの最重要事項はもちろんヒットして、セールスを上げることだとしてもロックにはビジネス以外の要素も極めて重要であるに違いない。「消費的財」としてのロックでなく、あくまで「文化的財」としてのロックに注目し、これまで、そしてこれからの日本のロックを展望していく。

申込方法

下記アドレスまたは右記QRコード先のフォーマットよりお申込みください。
→ <https://goo.gl/fE141J>

お申込み用QRコード



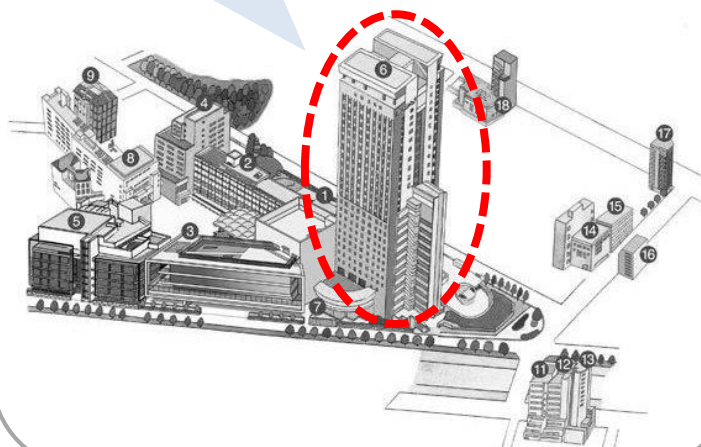
アクセス

<会場>

東京都千代田区富士見2-17-1
法政大学市ヶ谷キャンパス
ボアソナードタワー26階 会議室A

<最寄り駅からのアクセス>

市ヶ谷駅または飯田橋駅下車 徒歩10分



開会の挨拶

15:00

増淵 敏之
政策創造研究科 教授

対談①

15:15

川上 シゲ

EX.カルメン・マキ&OZ



1952年福井県福井市生まれ。1970年代前半の米軍キャンプ廻り、元ダイナマイト 瀬川洋氏グループへの参加等を経て、1975年カルメンマキ&OZに加入。「日本のロックの到達点」と評されるこのバンドでの活動で「日本ロックベースのバイオニア」としてのポジションを不動のものとする。カルメンマキ&OZ解散後は、NOIZ、千年コメツ、タイフーン・ナタリなどを結成し、また、アレンジャー、作曲家、プロデューサーとしてWhite berry、川本真琴を始めとする数々のアーティストを輩出しつつ、井上陽水他多くの作品にマイペースでレコーディングへの参加などを行ってきた。現在はChappy's(w. うじきつよし、武田*chappy*治、澄田健)を中心に様々なセッションで精力的に活動中。

対談②

15:40

真鍋 吉明 the pillows



1962年生まれ。北海道出身。今年結成28年を迎えたthe pillowsのギタリスト。プレイヤーとしてだけでなく、録音・ミックスなど、制作面での見識も深い。また、ソロではNINE MILES名義でレゲエアルバムや、真鍋吉明名義でギター・ソロアルバムをリリースするなど精力的な活動を行っている。
the pillows official HP : <http://www.pillows.jp>

講演

16:05

宮入 恭平 政策創造研究科 兼任講師



社会学者、法政大学大学院兼任講師。おもにポピュラー音楽を中心に、カルチュラル・スタディーズの観点からポピュラー文化研究をおこなっている。著書に「ライブハウス文化論」(青弓社)、「J-POP文化論」(彩流社)、編著に「発表会文化論」(青弓社)など。

ディスカッション&質疑応答

16:40

川上 シゲ

EX.カルメン・マキ&OZ

宮入 恭平

政策創造研究科 兼任講師

真鍋 吉明

the pillows

増淵 敏之

政策創造研究科 教授

閉会の挨拶

17:30

● お申込み及びシンポジウムについてのお問合せ ●

法政大学大学院事務部大学院課政策創造研究科担当

Tel : (03) 3264-6630

E-mail : rpd-j@hosei.ac.jp